

### 生田班の環境特性

#### ・アンサンブルの関係者（職員、利用者）以外他の人影がほとんどない

→したがって自閉の人から見て人間関係がシンプル＝色々な人の多様な面と接触する必要がない

#### ・目の前で展開する光景（映像）が多様でなく単相＝極めて限局されている

※近くに人家がない 近くに店がない 車もたまに通るだけ まわりはどこを見ても山と少しの田圃だけ

いつも同じ面々だけが周囲にいて やっていることは毎日ほぼ同じようなこと

気が散るような要素が一日の生活の中に登場しない

### <それ以外はない！これ以外はありません！>という環境

### 自閉症者の心の特性

・ <まず自分の意思が心の中であって、それに叶うそれを実現する対象を選択する>ということにならないのが自閉症者

・ 目に触れた対象の内 何かのきっかけで偶然あるものを選択する（というように受け取れる） この時対象となるもの（目に触れたもの）が多数であったり多様であったりすると選択が困難＝意思決定が困難→心の委縮・心の後退、退行＝混乱・錯乱・引きこもりへ

※したがって生田班の上記の条件は自閉症者のスムーズな行動を促す（彼を他の人達の中に抵抗なく誘導する）極めて重要な条件となっている

無論我々は自分たちの実践が唯一無二の方法などとは考えない。彼はコメ作りの仕事へも、ダンスのサークルに参加して結構やっけて行けるかも知れない。そのような社会参加＝人間として生きて行く途は多数存在することは言うまでもない。

しかし我々の生田班のような、彼をスムーズに人間集団へといざなう条件が整えられるかを考えると極めて困難なことが分かる。何故なら彼がそこに参加する途上には彼の注意を攪乱してしまう多数の条件が待ち受けるから。

生田班という格好の条件の中で、個室のソファで横たわっていた彼が起き上がり

歩屋外に出ると、見知った面々がいつもの同じ作業にいそしんでいる。目にするものは

その光景だけである。

### <環境の限定は自閉症者に対し円滑なる促しを迫る重要な要件である>

### 薪作り作業の特性

巨大な横たわる原木からタガ詰めされて商品となったものまで、一連の作業は可視的で理解が容易 形を変えて行く様が自分の目で確認できる。故に自分が、あそこのあの人たちが何をしているか了解できる⇒自分のしている仕事の始まりから終わりまでを理解した上で日々の作業に向き合える

VS 農業：播種から成長、収穫まで自閉症者が理解できようか  
ここに自閉症者も参加できる薪作業の特性がある

## 遊歩道づくりの効果

遊歩道も含め自分たちの周囲の環境を、望む方向に整備して行く実践の可能性は極めて大きい。

自分たちが作った道をどんどん上って行くと視界が開けるところがあって、下の方を眺めたら〇〇君が仕事している。向かいの梅松苑の屋根が見える。小椋さんの家も見えた。

標高差・高低差がもたらす非日常的（＝未体験の）風景の体験。→このような未体験の視覚的刺激は遊歩道を「歩く」という行動を促すと考える。彼らにとって恐らく類似の体験は車の窓からの風景の変化であっただろう。この標高差のある歩行が・減量と・筋力の発達を促すことは自明。

「やることがない」が原因で不活発な日常（場合により引きこもり）は肥満につながり、それは更に体を動かすことがますます億劫になり肥満の増幅につながる。億劫・不活発・過食（肥大化した身体維持のため）の悪循環。

遊歩道を通した抵抗のない運動習慣は体を軽くし、そのことが心の内奥からの身体行動の快感として実感される。

### ※重力の抵抗 筋力の発達

我々は大気圧の重力のもとで生きる この単位は1 Gとカウントされる 水に潜ると更に深さにより水圧が加わる 我々の筋肉（筋力）の発達成長はこの1 Gの大気圧の下でも種として生きるためである 肥満による体重増加は身体にとってこのG＝大気圧が増すことと同義 であるから肥満体の人達の行動は辛いものとなることは当然 自閉症者の不活発・引きこもりはこの要素も極めて大 体重が減ることで彼らは不必要に過大なGから解放されるのである

体が軽くなると心の奥底から無意識に自然に、体を動かしたいという欲求が目覚める。

手を伸ばしたら届いた 歩いたら足取りが軽い 思うように動けることは快適だ

以上のような自閉症者の劇的変化を我々は生田班で目撃しているのである

＜自然の持つ包容力、回復力 特に樹木が生い茂る背後の山 その高低差

⇒これが包容力の源 面積は  $250\text{m} \times 60\text{m} = 15,000 \text{ m}^2$  ＞

※ちなみに同じ面積の平らなグラウンドで可能だろうか

高低差はあっても草一本生えていない砂丘で可能だろうか

## 今後の展開

この環境を自然公園に！

事例

NY さん 薪の仕事以外、他に仕事がない 色んな人がいない → 作業に  
順応 心の安定

OT さん 出入りできる色んな建物がない 生田の建物は皆目的が同じ  
→仕方なく集中

TY さん 悪さが出来るお店が移動可能範囲内に存在しない  
悪気はないが犯罪につながる窃盗行為（黙って店のものを持って  
来る）→それが生じない日常に 安定した作業

MS さん 環境がシンプルなので他者に手を出す行為も減り作業に集中

IM さん 短期間での劇的変化

OM さん 薪作業だから手を出す（出せる） 他ではあり得ない

KT さん 手の付けられない問題行動が皆と共存できるまでに